

一九九八年を送る―

腐りきった日本政治・社会の裏側が丸見えになった一年だった！

見よ、背任、汚職、ワイロ、不正の泥沼―

◎「日本を守る」などと、カッコイイ宣伝をしつつ、防衛予算は、今や世界第二位の軍需産業。しかし、一皮むけば、防衛庁・制服組までからむ背任・汚職・証拠隠し事件。大切な国民の税金を私利私欲のために用いる防衛庁・自衛隊は、国を守るどころか「日本を滅ぼす」元凶そのもの！

◎私たちが、政治家を選ぶのは、日本をよい国にしたいため。しかし、実態はその反対。政府自民党の金融・経済政策の失敗で、国民からの借金（国債・公債）は、三百兆円を超え、国民一人当たり約二三〇万円を国に貸している計算になるらしい。企業なら、とくに倒産なのに、その金を金融機関の失敗の穴埋めに使い、このツケが、すべての国民、特に若者の上にのしかかるのは確実！若者よ、こんな悪政を来年も許すのか？

◎どう考えても分からないこと：日本の貿易は、大幅黒字。つまり、ヌクヌクと儲けている大企業があるのだ。税金を取るなら、消費税などやめて、そこから公平に取ってほしい。それが正義というものだ。

◎浜松基地に配備されたAWACSは、一機五七〇億（これは、昨年の浜松市の土木費当初予算ほぼ一年分。教育費の三年分に相当）、間もなく四機になるので、計二、二八〇億円。ああ、何という税金の無駄遣い！しかもアメリカが、財政赤字で苦しんでいた頃、対米黒字減らしのためにAWACSを買ってあげた（買わされた）側面もあるとか。今後AWACSの維持費は、毎年千九百億円：これはほんの一例だが、私たちの税金が湯水のように浪費され続けている現実。これでもガマンなのか？

◎どうもすべてが、日米安保新ガイドライン・周辺事態法案がらみらしい。米軍がアジアで戦争を始めると、自動的に自衛隊、自治体、国民（市民）が協力させられるという恐るべき「戦争法案」。これでは、平和憲法の息の根が止められてしまう。アジア一のAWACS基地になった浜松は、真っ先に報復攻撃を受ける可能性が高い。

市民の生命と生活を守る責任を放棄し、一度も配備に反対しなかった市長と市議会議員は末代までの禍根。なぜ私たちは、こんな人々を選んだのか。今度こそ、人を選んで投票しよう！

◎浜松市でも、元文化振興部長と音楽振興課長が、出張旅費をごまかし引責辞職。これは、運悪くたまたまバレンタインだけ、とかの専らのウワサ！

私たちは、市民税の使い道に目を光らせないと、市政が腐ってしまう。私たちこそが、市の主権者であることを、改めて心に刻んだ一年でもあった。

◎今年も、悪臭を放つ日本（と浜松）の姿が目立った一年であった。しかし、来年こそは、世界一立派な「戦争放棄」の憲法を持つ輝く日本、平和都市浜松を作るために、本音を出し、皆で力を合わせよう！

一九九八年十二月十三日（日）第三八二回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局 浜松市紺屋町三〇一ノ十五